

# ひびき通信

平成 25 年  
11 月版

12 月 8 日開催

排泄・食事・入浴：介護現場ならではの具体例  
**声かけ&コミュニケーションを学ぶ**  
介護現場で不可欠ともいえる声かけとコミュニケーションの基礎を学ぶセミナーが十二月八日にセンターで開催されます。セミナーでは入浴や排泄、食事など具体的な介護の場面での声かけのポイントや、やってはいけないコミュニケーションの具体例を学びます。詳細はホームページをご覧ください。

好評  
受け付け中です

## 食思不振のご利用者からリクエスト

### 「やっぱり、うまいね」

デイサービス響では、このほどお昼のご飯に国産松茸を使った松茸ご飯が登場。ご利用者たちは、思ってもみなかった秋の香りと味を満喫しました。

### 厨房スタッフ発奮、国産松茸ふんだんに



国産松茸たっぷりの松茸ご飯

いつもは契約農家から仕入れた白いご飯が定番ですが、最近、特に食欲が落ちてきた男性利用者から「松茸ご飯ならおかわりするよ」と言われ、厨房スタッフが発奮。それから国産松茸ご飯を振舞おうと急遽、特別メニューの提供となりました。

お昼の準備が進む中、フロ

おめでとうございます



デイサービスに来所されている木村エツ子さん

アには松茸のいい香りが広がります。「いただきます」のあいさつもそぞろに、ご利用者たちは、炊き上がったばかりのアツアツの松茸ご飯に舌

鼓を打っていました。もちろん、リクエストされた男性利用者もきれいに平らげ「うまかったな」と満面の笑顔を見せられました。

「普通のお風呂に普通に入る」を体験  
このわりの入浴セミナーで介助のコツを学ぶ  
入浴介助の基礎を体得する入浴セミナーが、このほど当センターで開催されました。写真。



入浴介助の基礎を体得する入浴セミナーが、このほど当センターで開催されました。写真。セミナーでは、肩まで浸かり、シャワーではなくかけ湯を使う日本人ならではの「お風呂文化」を再確認したあと、移動介助のポイント、恥ずかしいという思いに配慮するタオルの使い方などを学びました。

このあと浴室に移動、実際にお湯を張ったお風呂に入りながら、片麻痺利用者を想定した介助の流れを確認。介助する側、される側をそれぞれ体験しながら、浮力を活かした介助法を何度も確認していました。



下山さんから指導を受ける参加者

## なるほど納得の介護技術

### 下山名月さんの介護技術講座

生活ケアに根ざした基本中の「き」を学ぶ

介護アドバイザーの下山名月さんを講師に招いた介護技術基礎講座がこのほど、当センターで開催されました。講座には介護職や看護職など十六名が参加しました。

講座では、適切な介助のポイントとして、自然な動きを援助すること。本人をよく知ること。環境や条件を整えること。本人が主体となること。力ではなく質である

ことなどを学んだあと、二人ひと組となり、椅子から車椅子、車椅子からベッドへの移乗、片麻痺のある方の健側移動、患側移動など、介助の基本を学びました。